

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

みんなで一輪車を乗りこなそう!

 広島・安芸高田市立高宮小で一輪車講習会

①講師の鈴木さん、佐藤さんと記念写真 ②まずは乗る姿勢から学ぶ ③「もう少し体をまっすぐに」と指導中

広島県安芸高田市の市立高宮小学校（正田政則校長、児童83人）で6月5日、ベルマーク財団主催の一輪車講習会が開かれました。

同じ市内にあった川根小は40年以上、児童たちが一輪車に取り組み、昨年8月には財団主催の一輪車講習会も開かれました。川根小は今春、閉校となり、高宮小に統合されました。旧川根小に通っていた児童たちが一輪車を乗りこなすことが刺激になって、高宮小でも一輪車ブームが起きたそうです。

講師は、全国や世界大会で優勝した経験のある鈴木奈菜さんと佐藤彩香さんです。1時間目は全校児童が体育館に集まり、映画「アナと雪の女王」の挿入曲「レット・イット・ゴー」に合わせ、佐藤さんがスピンやタイヤに

乗るなどのソロ演技を披露。体育館に驚きの声があがりました。鈴木さんが「失敗することを恐れないで。きょうはいっぱい失敗して、うまくなりましょう」と呼びかけると、児童たちはうなずいていました。

続いて場所を校庭に移し、今度は児童たちが自分で一輪車に乗りました。1年生と4年生、3年生と5年生、2年生と6年生の三つのグループに分かれ、2時間目から4時間目まで、それぞれ45分間、練習しました。

一輪車に慣れている子もいれば、そうでない子もいて、児童たちのレベルはまちまちです。サドルの位置や乗るときの姿勢など基本を伝えた後、鈴木さん、佐藤さんから、レベルに応じた指導を受けました。できなかったバックでの走行や、乗ったまま停止するアイドリングができ

るようになり、「できたっ」「やったあ」という声があがりました。

指導を受けた4年生の児童たちは「コツがつかめた」「体幹がしっかりしないと、一輪車に乗れないとわかった」「難しかったけど、ちょっとわかった」と口々に感想を話していました。

お天気に恵まれ、汗ばむ陽気の中、あっという間に楽しい時間が過ぎました。4時間目の指導が終わると、6年生の児童が代表して講師2人にお礼の言葉を伝え、「できないことができるよう、これからもあきらめないでがんばります」とあいさつ。最後に鈴木さん、佐藤さんと一緒に校舎前で記念撮影をしました。

「これからも盛り上げていきたい」

 ジブラルタ生命保険の市場調査費が1億円に

協賛会社のジブラルタ生命保険（ベルマーク番号15）のベルマーク市場調査費累計額が1億円を超え、6月6日、財団から感謝状を贈りました。協賛会社になったのは2004年9月で、今年でちょうど20年。生命保険会社として初めての協賛会社でした。全ての保険商品は新規加入1契約につき一律100点のベルマークが付いています。

同社はマーク収集にも積極的に取り組んでおり、全国各地にある約700の営業拠点が年間を通して集めています。

活動をリードしてきたのが、アドバイザー（顧問）の松本哲さんです。営業で学校を訪問した時、マークの回収箱を目にして、「ベルマークを保険につけ、社会

貢献ができないか」と思いついたそうです。社内に説明して回り、商品に一律にマークを付ける仕組みも考えました。

贈呈式で松本さんは「これからもベルマーク運動を盛り上げていきたい」と決意を語ってくれました。



財団の山崎靖前常務理事から感謝状を贈られた松本哲ジブラルタ生命アドバイザー（顧問）（左）

「活力を生む活動に使って」

 ミズノスポーツ振興財団が200万円助成

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団（水野明人会長）からベルマーク財団に200万円の助成をいただきました。1971年から54年連続で、累計では9750万円にのびります。

振興財団の水野英人副会長が6月18日、ベルマーク財団を訪れました。水野副会長は「心と体に加え、知的な健康も求められる時代。ニーズも変わっていくでしょう。前向きな活力を生む活動に使ってもらい、社会貢献に役立てて欲しい」と話しました。

振興財団は、競技団体やスポーツに関する研究への助成事業や、指導者の表彰などの取り組みをしています。ベルマーク財団への助成は、ミズノ創業者である

水野利八氏の遺志で水野スポーツ振興会（振興財団の前身）が設立された翌年から始まりました。協力会社のミズノはソフト事業「教育応援隊」で「走り方教室」を開催しています。今回の助成金は教室の実施費用などに活用する予定です。



目録を手にする水野英人ミズノスポーツ振興財団副会長（右）と福島範彰ベルマーク財団常務理事